

V 作業療法

作業療法のカバーする範囲はひろい。そのためときにはその中心的な特徴は何なのかということが問題になったりもする。しかし以前あったような作業療法即職業訓練という誤解はほぼ影をひそめ、作業療法が医学の新しい治療技術の体系であるという認識がしだいに確立されつつある。野村・宮前論文と吉村論文は脳卒中の運動障害そのものの評価を治療の理論と実際をそれぞれの角度から述べ、鎌倉論文は失行・失認症の作業療法という魅力ある分野の探求のひとつの試みを報告する。寺山論文は、医学的リハビリテーションの最終の環であり、職業的リハビリテーションへのかけ橋としての職業前作業療法の実際を実例を通してのべている。読者はこれらのなかに、脳卒中の OT の多彩な各側面が照し出されているのを見るであろう。なお作業療法のもうひとつの領域である ADL は他のセクションにおさめた。

片まひの機能的作業療法について.....	野村 田鶴子 宮前 珠子・496
片まひに対する機能的作業療法.....	吉村 澄江・508
主として上肢機能回復について	
失行・失認症患者の治療例.....	鎌倉 矩子・514
あるゲルストマン症候群患者の場合	
片麻痺患者のための職業前作業療法.....	寺山 久美子・520